学校番号	1006

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	社会と人間生活	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広い視野に立って，現代の社会について主体的に考察させ，理解を深めさせるとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を育て，平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

2　学習の到達目標

①自己形成や人間としての在り方や生き方などに関わる基本的な事項を，人格形成に生かす知識として身に付ける。
②人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて，青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。
③人格の形成に努める実践的意欲を高め，他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事柄を，他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し，人格形成に生かす知識として身に付けている。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし，人間の存在や価値などについて多面的･多角的に考察し探究するとともに，良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて，青年期における自己形成について関心を高め，人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに，これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付け，人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	青年期の課題と自己形成	青年期の意義 ・人間とは何か ・青年期とは何か	a:・青年期の意義を理解し，その知識を身に付けている。 ・青年期の意義に関する情報を収集し，適切に活用できる b:青年期の意義を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c:青年期の積極的な意義を意欲的に探究しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート 発表など
	青年期の課題と自己形成	青年期の課題 ・自己形成の課題 ・自立への課題	a:・青年期の課題を生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し，その知識を身に付けている。 ・青年期の課題及び現代の諸課題に関する情報を収集し，適切に活用できる。 b:青年期の課題について，自己の生き方に関わる課題とつなげて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c:青年期の課題を豊かな自己形成に向けて意欲的に探究しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート 発表など

二学期	人間としての自覚	キリスト教 ・古代ユダヤ教 ・イエス ・キリスト教の誕生と展開	a:・キリスト教の発展過程を学習することを通して，西洋をはじめとした現代社会の基盤となっている思想であることを理解し，人格の形成に生かす知識として身に付けている。 ・現代社会におけるキリスト教の発展がもつ意義などに関する資料を収集し，適切に活用できる。 b: 原罪や愛など，先哲が課題として探究したことを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: キリスト教で説かれた人間の存在や価値に関わる基本的な課題を，自己の生き方との関わりにおいて捉え，意欲的に探究しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

	人間としての自覚	イスラーム 仏教 ・仏教以前のインド思想 ・ブッダの教え ・大乗仏教の成立とその教え	a:・共同体の在り方や人間相互のつながりなど，イスラームにおける考え方を自己の課題とつなげて理解し，人格の形成に生かす知識として身に付けている。 ・苦や慈悲など仏教における考え方を自己の課題とつなげて理解し，人格の形成に生かす知識として身に付けている。 ・現代社会におけるイスラーム思想のもつ意義などに関する情報を様々なメディアを通して収集し，適切に選択して活用できる。 ・ブッダの思想に関する資料を収集し，適切に活用できる b:・イスラームとキリスト教の共通点・相違点を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 ・一神教との死生観の違いを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c:・ユダヤ教からイスラームに至るまでの一神教の発展について関心を高め，人間としての在り方生き方に関わる課題として意欲的に探究しようとしている。 ・仏教が誕生し，キリスト教やイスラームと同様に，広範囲に信者をもつ宗教として発展した経緯について関心を高め，意欲的に探究しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など
三学期	日本人としての自覚	古代日本人の思想 ・日本の風土と日本人の気質 ・神との関わりと道徳観	a:・古代日本の自然観・宗教観の特質を理解し，その知識を身に付けている。 ・古代日本人の自然観・宗教観に関する資料を収集し，適切に活用できる。 b:日本の風土とその中で育まれてきたものの見方・考え方の意義を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c:古代日本人に見られるものの見方・考え方の特質を意欲的に探究しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

	日本人としての自覚	近世日本の思想 ・儒学の受容と朱子学 ・日本陽明学 ・日本的儒学の形成 ・国学の形成 ・民衆の思想 ・幕末の思想	a:・儒教の受容について，日本人に見られるものの見方・考え方とつなげて理解し，その知識を身に付けている。 ・儒教を受容し，日本独自の思想として発展させる日本人の考え方に関する資料を収集し，適切に活用できる。 b:近世日本の思想と社会形成との関わりを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を様々な方法で表現している。 c:近世日本における，儒教の受容の在り方と独自の思想が発展した経緯を意欲的に探究しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度